



メガソーラー建設の不安に答えよ

小玉 勇 議員

計画概要を見て慎重に見守る

町長



山林に設置されるメガソーラー(イメージ)

町はどう考える

400haを超える山林を取得とあるが、町長 1ha以上の土地取引は「土地売買届出」が必要で4月まで7回あった。まちづくり推進課が担当するが、利用目的・取引価格を県に届出し、県が適正化の勧告を行う。事業関係者の説明内容は、町長 次年子地内に100メガワットの太陽光発電施設をつくる。経済産業省より太陽光発電事業者の認可を受けている。東北電力と接続契約をしているとの説明だ。

町は事業関係者にどんな質問をしたのか。
町長 ①次年子地区を選んだ理由
②町有地や農地の関係
③雪対策について
④実現の可能性
以上について尋ねているが、次年子を選んだ理由以外の明確な答えはまだない。

外国への土地の転売や伐採による土石流、ゴミ捨て場になる恐れは、町長 国の認可業者であること、東北電力との協議を行っていることから太陽光発電以外の用途はないと思っている。



事業関係者が議会と町へ説明(6/16)

施工業者から現時点での事業説明は、町長 町民を対象とした説明会を早急に行うように強く申し入れをしている。賛否の判断は賠償責任もからむのできちんとすべきではないか。

町長 業者側の充分な説明をもとに、地元や林業関係者、下流域の自治会、水利権関係者等から広く意見を聞き集約し判断したい。



町民の負担を減らし、くらしやすい町を

遠藤 宏司 議員

幸福を感じる町をつくりたい

町長

負担額の県内順位は

町民一人当たりの国民健康保険税は、県内で何番目か。
町長 前年比33%増で一人当たりの負担額は、12万7234円となる。前年、平成28年度の県内全体の保険税負担額の集計は、山形県国保連合会から本年9月に公表になる。正確な県内の順位はその時期に判明することになる。



今年度の国保税はいくら?!

町民一人当たりの介護保険料は、県内で何番目か。
町長 介護保険料は現在第6期計画で運営されており、一人当たりの保険料は第5期と比較すると39%増で、月額6290円となり、高い方から4番目である。各種の町民負担が重いことは、「豪雪」と同様に、人口流出の要因になるのではないか。

町長 「大石田町に住みにくいと感ずる点」というアンケートの問いに「雪が多い」が8割を超えており、町民全体が感じていると考えられる。



他市町に負けない子育て支援を

転出者の4割が18歳から25歳の年齢層で、就労や婚姻が理由と考える。人口流出を食い止めるため、くらしやすく、子育てしやすいまちづくりが課題になると思うが、町長 「くらしやすいまちづくり」の具体的施策は、道路網や流雪溝の整備、社会インフラの整備を確実に進め、産業や観光の振興を通して町経済の活性化を図る。「子育てしやすいまちづくり」の施策としては、「出産祝い金」や「子育て医療の充実」、勤労世帯の就労支援のための「放課後児童クラブ」や「児童センター」の運営、延長保育や一時預かりの保育サービスの充実など、「子ども・子育て支援計画」に沿って、子育て環境の整備に努める。